

### 今週の感染症発生動向

**咽頭結膜熱(ブル熱)の発生は、急増  
感染性胃腸炎および水痘の発生は、再び増加**

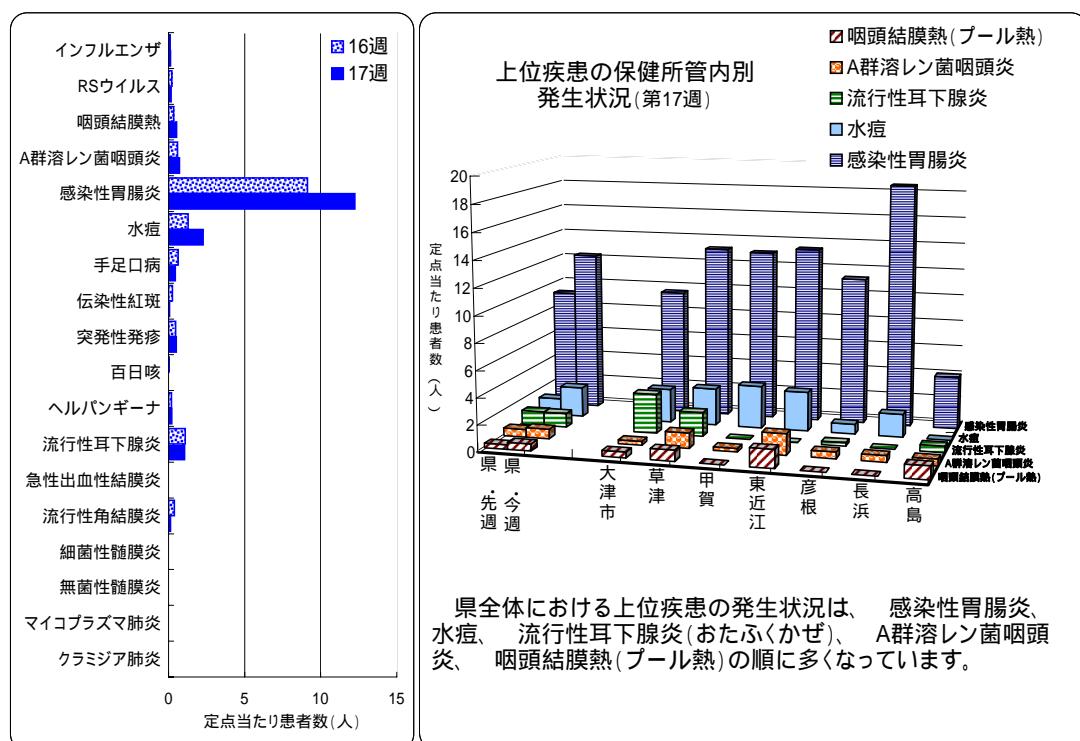
#### 一類~五類全数報告感染症の発生状況(第17週)

- 一類感染症----報告はありません
- 二類感染症----**結核 4名**
- 三類感染症----報告はありません
- 四類感染症----報告はありません
- 五類感染症----報告はありません

#### 定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週(464名)よりかなり増加し、今週は591名となっています。今週増加した疾患は、咽頭結膜熱(ブル熱)、感染性胃腸炎、水痘等で、減少した疾患は、手足口病、伝染性紅斑(リンゴ病)等です(週別発生状況については、疾患別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)では、大津市保健所管内で先週に引き続き注意報発生基準値(定点当たり患者数3.00)を超えています。



#### 疾患別発生状況

- 咽頭結膜熱----県全体では先週よりさらに増加し、保健所管内別では東近江で急増しています。
- 感染性胃腸炎----甲賀以外の保健所管内で先週より増加しています。特に、草津、彦根および長浜保健所管内では、先週よりかなり多くなっています。
- 水痘----高島以外の保健所管内で先週より増加しています。特に、大津市、東近江および長浜保健所管内で急増しています。
- 手足口病----先週多かった草津および高島保健所管内では、先週よりかなり減少しています。
- 流行性耳下腺炎----県全体としては、減少傾向となっています。東近江保健所管内では、先週よりかなり減少していますが、草津保健所管内では急増しています。

## 1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ことになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成22年累積報告数		平成21年累積報告数 <sup>(*)1)</sup>		平成20年累積報告数	
		滋賀 <sup>(17週)</sup>	全国 <sup>(*)2)</sup> (16週注)	滋賀	全国 <sup>(*)2)</sup>	滋賀	全国 <sup>(*)2)</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	84	6,846	256	26,932	282	28,419
三類感染症	コレラ	0	2	1	16	0	45
	細菌性赤痢	0	49	0	180	3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	3	337	27	3,886	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	22	1	56	0	43
	A型肝炎	2	144	0	115	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	0	2	1	2
	デング熱	0	42	0	93	2	104
	マラリア	0	20	0	56	1	56
	レジオネラ症	0	149	8	712	10	893
五類感染症	アーマーバ赤痢	3	239	10	783	10	872
	ウイルス性肝炎	0	54	3	220	5	241
	急性脳炎	0	84	8	526	1	190
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	46	2	141	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	43	2	105	1	113
	後天性免疫不全症候群	1	397	9	1,449	11	1,568
	ジアルジア症	0	23	0	73	1	75
	梅毒	4	161	3	692	5	839
	破傷風	0	21	3	113	5	123
	風しん	4	31	2	148	2	309
	麻しん	0	155	7	739	39	11,015
新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) <sup>(*)3)</sup>	0	0	138	12,639	- <sup>(*)4)</sup>	- <sup>(*)4)</sup>

注: 17週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

\* 1: 感染症発生動向調査年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成22年3月)。

\* 2: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

\* 3: 感染症法の一部改正(平成21年7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間:平成21年7月24日～8月24日)

\* 4: 感染症法の一部改正以前のため、集計は行っていません。

## 2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一方所の定点から何人の患者が報告されているかを示したもので(患者報告数 = 定点当たり患者数 × 定点数)。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成22年第12～17週、3/21～5/2)

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数(前週より増加)							前週と同じ				前週より減少			
			12週	13週	14週	15週	16週	17週	週								
			3/21～	3/29～	4/5～	4/12～	4/19～	4/26～	13	14	15	16	17				
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.27	0.44	0.32	0.09	0.11	0.13									
小児科	32	RSウイルス感染症	0.26	0.06	0.25	0.22	0.22	0.16									
		咽頭結膜熱(ブル熱)	0.16	0.16	0.28	0.28	0.34	0.53									
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.55	0.68	0.56	0.38	0.59	0.72									
		感染性胃腸炎	7.39	7.39	8.53	10.28	9.13	12.25									
		水痘	1.39	1.55	1.63	1.75	1.28	2.28									
		手足口病	0.45	0.35	0.69	0.53	0.63	0.44									
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.10	0.13	0.22	0.25	0.06									
		突発性発しん	0.35	0.19	0.25	0.38	0.47	0.50									
		百日咳	0	0.03	0	0.03	0.03	0									
		ヘルパンギーナ	0.10	0.13	0.16	0.25	0.19	0.22									
眼科	8	流行性耳下腺炎(あたふくかぜ)	0.74	0.58	0.66	1.13	1.09	1.06									
		急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0									
		流行性角結膜炎	0.13	0	0.13	0.13	0.38	0.13									
基幹	7	細菌性髄膜炎	0	0.14	0.14	0	0	0									
		無菌性髄膜炎	0	0	0.29	0	0	0									
		マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0									
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0.14	0.14	0	0									

### 各疾患における6週間の発生状況

増加傾向……咽頭結膜熱(ブル熱)、感染性胃腸炎  
減少傾向……RSウイルス感染症

## (2) 疾病別・保健所管内別発生状況(第17週、4/26～5/2)

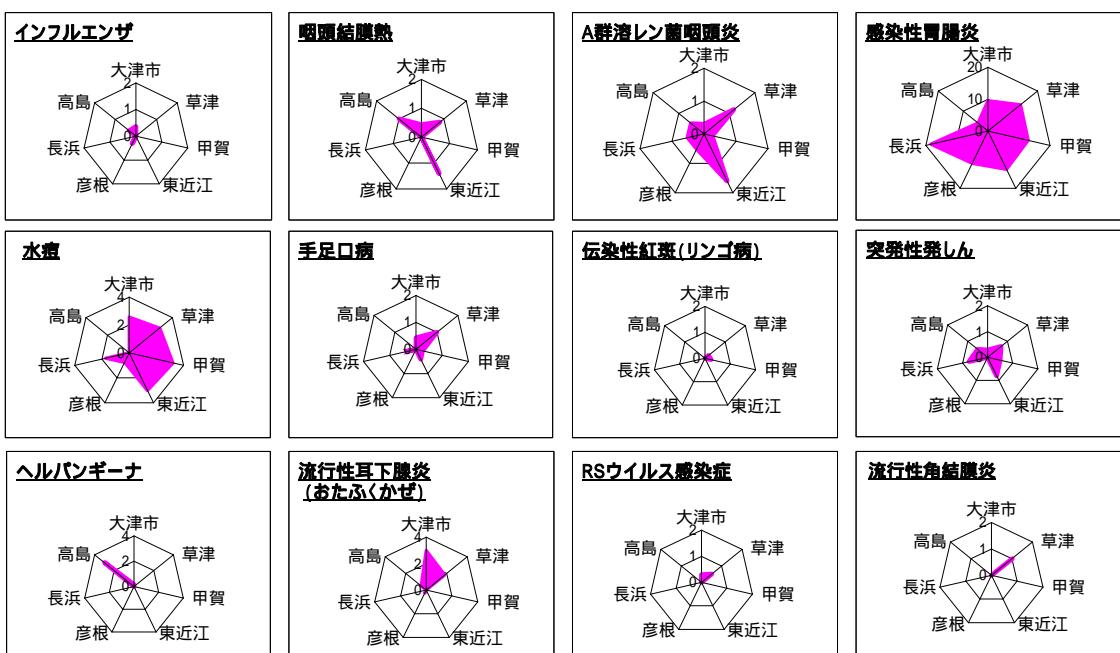
疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							疾患別発生状況 (県全体)	
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.13	0.36	0	0	0	0.29	0	0.33	
RSウイルス感染症	0.16	0.29	0.50	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.53	0.43	0.83	0	1.40	0	0	1.00	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.72	0.29	1.17	0.25	1.60	0.50	0.50	0.50	
感染性胃腸炎	12.25	9.57	13.17	13.00	13.40	11.25	18.50	4.00	■
水痘	2.28	2.57	2.83	3.25	3.00	0.75	1.75	0	■
手足口病	0.44	0.43	1.00	0.25	0.40	0	0.50	0	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0.17	0.25	0	0	0	0	
突発性発しん	0.50	0.29	0.67	0.50	0.80	0	0.75	0.50	■
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.22	0.14	0	0	0	0	0	3.00	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.06	3.00	1.83	0	0	0.25	0	0.50	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.13	0	1.00	0	0	0	0	0	■
細菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

赤・太字 は警報発生基準値を超えてます。

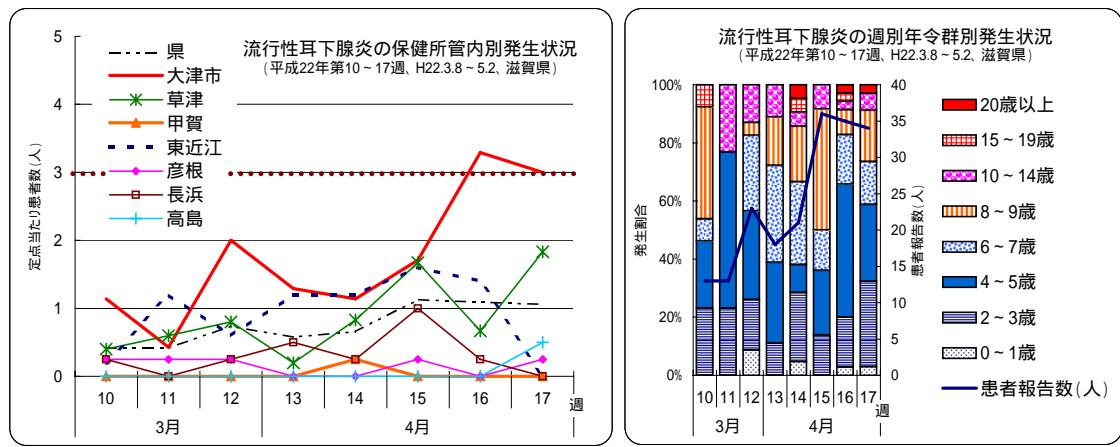
青緑・太字 は注意報発生基準値を超えてます。

0 2 4 6 8 10 12 14  
定点当たり患者数

## 疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



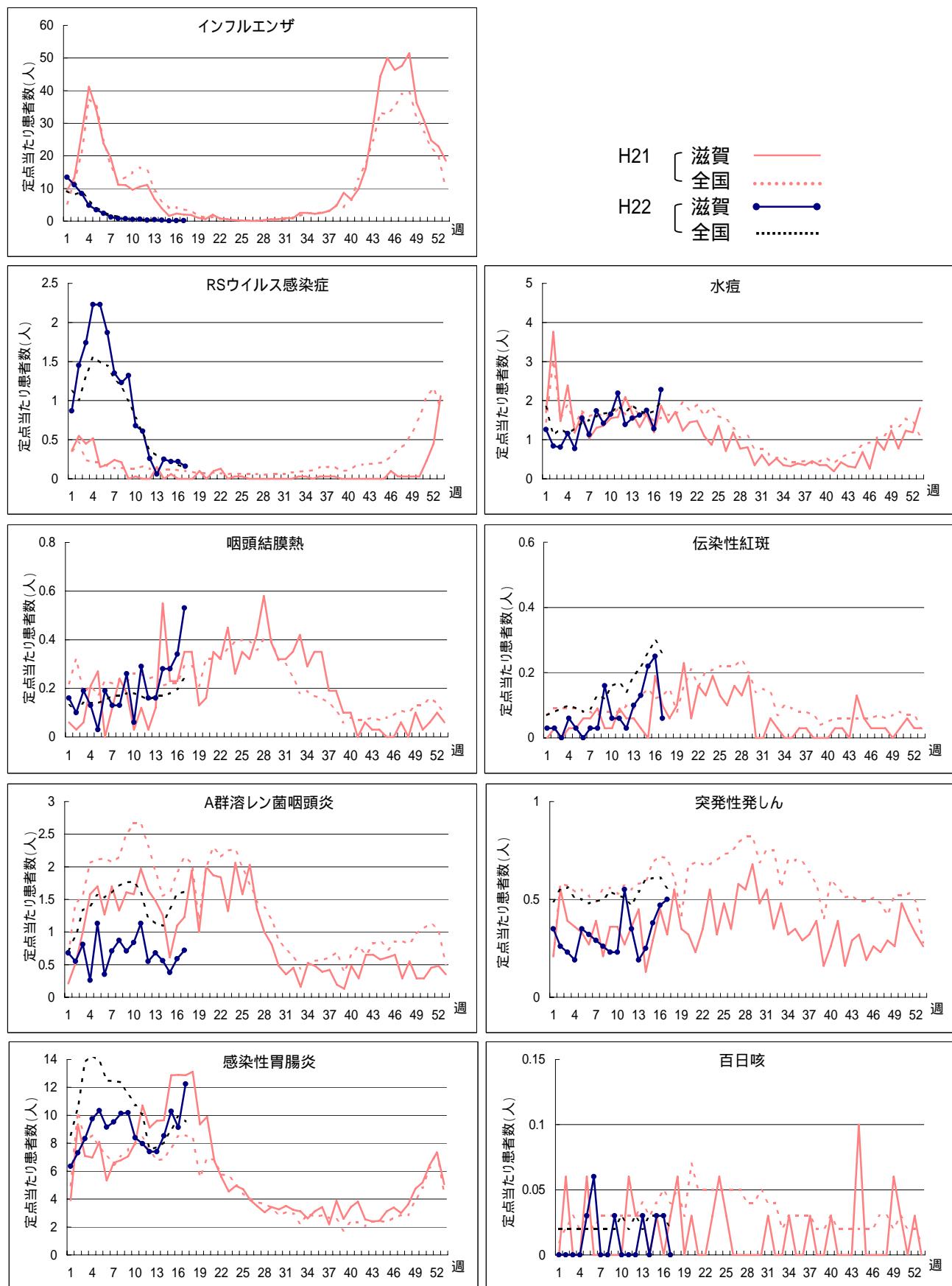
## 流行性耳下腺炎の発生状況



● 注意報発生基準値: 定点当たり患者数 3.00

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の第10～17週における発生状況は、上記グラフに示すとおりです。  
保健所管内別発生状況では、東近江で急減し、草津でかなり多くなっています。また、大津市で先週よりやや減少しているものの、注意報発生基準値(定点当たり患者数3.00)となっています。  
年令群別発生割合では、先週と比較すると4～5歳で減少し、2～3歳および8～9歳でかなり増加しています。

## 疾病別定点当たり患者数(平成22年第1～17週、H22.1.4～H22.5.2)



## 疾病別定点当たり患者数(平成22年第1～17週、H22.1.4～H22.5.2)

